

報告課題用紙②

2 他者に出会う

「未来をつくる想像力」 石田 英敬

教科書二四〽1 ★★★★★読解のヒント★★★★★

「メディア」の意味とは？

「手段、媒体」特に新聞やテレビなどの情報を伝える手段（情報媒体）を意味することが多い。

◎「イメージ」と「想像力」の関係を理解しよう。

①教科書二四・1行目〽2行目について、具体的な例を挙げてみよう。

②「ラスコーの壁画」例で、どのような事を言いたいのか、考えよう。

（教科書二五・11〽二六・3）

★これをヒントにして考えよう

昔（ラスコーの壁画の例）は

「

」、

今は

「

」。

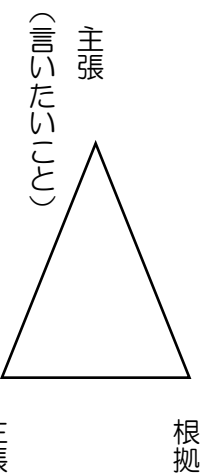
二 「イメージの過剰」や「イメージの貧困」とはどういうことか？

四 具体例の使い方

意見に説得力を持たせたり、抽象的なことを分かりやすくするため。

知っ得①

【三角ロジック】



主張と根拠を結びつけるための理由付け

「具体例」で説得力をUP！

（1枚目／3枚中）

教科書二六・8〳 ★★★★★読解のヒント★★★★★

◎「同じイメージを共有すること」の問題点を理解する。

①教科書二六・7行目〳8行目の確認

想像力の貧困は、イメージが過剰なことだけではなくて、例えば例えばテレビを通じて、みんなが同時に同じイメージを受け取っていることから生じている。

あらゆることがメディアから与えられたイメージによって「分かったつもり」になっていることから、どのようなことが起こると筆者は考えているか、本文を読み取ってみよう。

◎「想像力」と「未来の世界」との関係を理解する。

五

手順1

問題文を一文で考える。

「だから、想像力とは、人々の「未来」を成り立たせている「心のエネルギー」資源でもあるのだ。」 P二七・12〳14 も解答の範囲

手順2

未来の世界に関する記述を確認(条件節)

教科書二六・3〳5「産業的に 〳 しまうのだ。」

【注意】本文そのものは解答の中心と考え、補足の説明をすること。

六 「自然のエネルギー資源」を例にしていることから考えるとよい。

教科書二八・6〳 ★★★★★読解のヒント★★★★★

◎「タブラ・ラサ」の意味するところを理解する。

◎想像力を取り戻し育てるための方法を理解する。

九 主体性を問う問題

三行以下は再提出です。本文の内容(筆者の立場や考え)にも触れて書くときよい。

知っ得①

【意見文とは何か】

◎自分の意見を相手(読み手や聞き手)に根拠を用いて説明すること。

事実 十 理由付け 〳意見(主張)

新聞紙面に「発言」など、読者の投稿欄がありますよね。掲載されている文章はすべて意見文です。

(2枚目〳3枚中)

知っ得②

【意見文の書き方】

◎三段落構成で書く。

序論

本論

結論

※報告課題用紙②の補助プリントより「三角ロジック」の部分も読んでみると良いでしょう。

※NHK高校講座「現代の国語」第4回も視聴してみましよう。

「分かりやすい説明をしよう」

三 注意点

- ・ P五〇～五三をしっかり読んで理解してから取り組みましよう。
- ・ 博物館職員の立場としての言葉遣いを考えて使いましよう。
- ・ 無事に博物館に着けるよう、丁寧に正確な道案内を目指しましよう。

◎地図の下「ロールプレイの際に気を付けたこと」の記述は必須項目です。必ず書くこと。